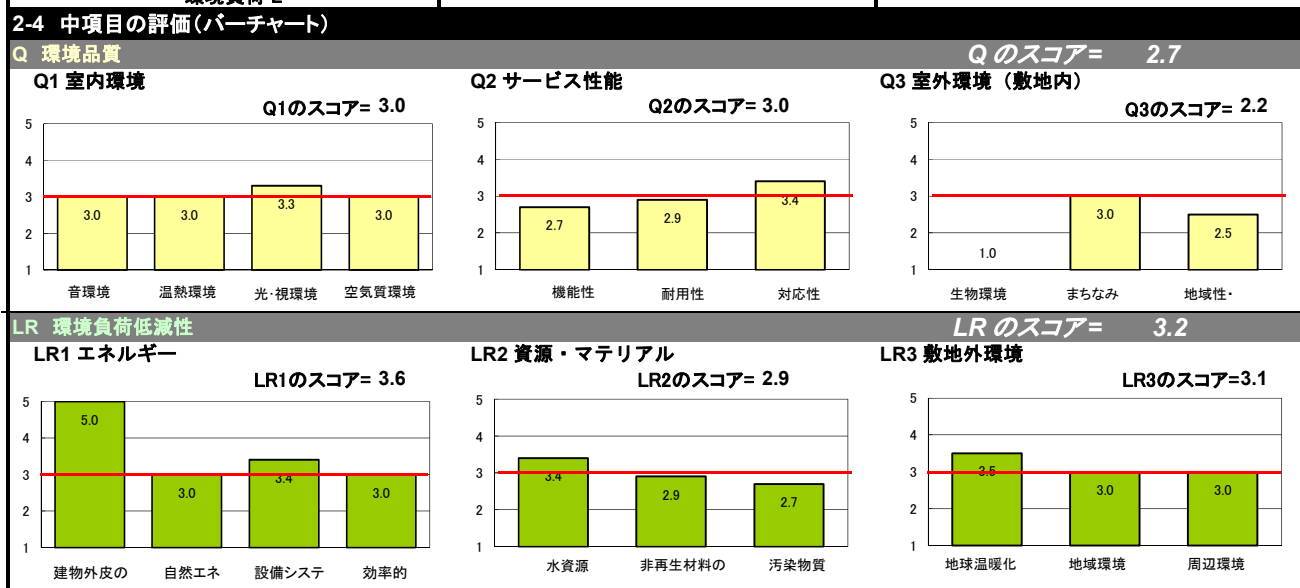
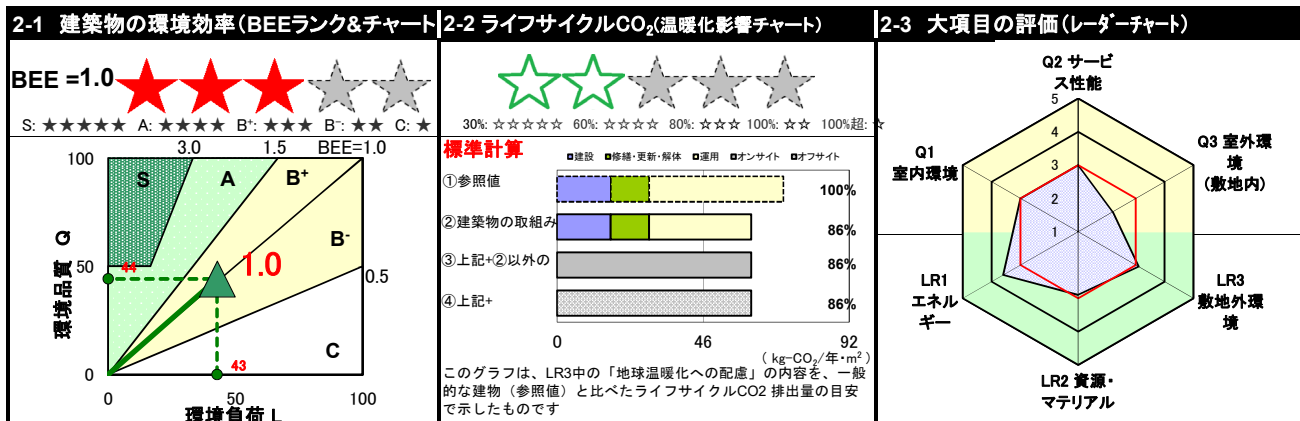




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ニチアス株式会社 鶴見工場 福利厚生棟再整備計画	階数	地上4F
建設地	横浜市鶴見区大黒町14番1,13番3,9番8	構造	S造
用途地域	防火指定なし	平均居住人員	91 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年10月10日
敷地面積	2,477 m ²	作成者	清水建設株式会社
建築面積	1,056 m ²	確認日	2024年10月10日
延床面積	3,570 m ²	確認者	清水建設株式会社



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
室内環境については底、ブラインドを設けることや、階高を高くすることなどで配慮している。 室外環境についてはOAフロアを設けることや、適切な量の駐車場と駐輪場を設けることで配慮している。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
室内環境については底、ブラインドを設けることで配慮している。	階高を高くし、対応性、更新性について配慮している。	植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
設備の高効率化を図っている。	OAフロアを設けている。	適切な量の駐車場と駐輪場を設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 ニチアス株式会社鶴見工場福利厚生棟

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 24 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

適合

受付日

2024年10月15日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①外皮に断熱材を使用

③LED照明を採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩庇、ブラインドを設ける

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



CASBEE横浜2022年版v.1.2

ニテアス株式会社鶴見工場福利厚生棟

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質			-		-			2.7
Q1 室内環境			0.35		-			3.0
1 音環境		3.0	0.15	-	-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	-			-
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			-
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			-
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			-
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			-
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			-
1 室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	-			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	-			-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.20	3.0	-			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	-			-
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-			3.3
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-			-
1 昼光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.60	3.0	-			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	3.0	-			-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	3.0	-			-
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-			-
1 昼光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	4.0	1.00	3.0	-			-
3.3 照度	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.15	3.0	-			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.25	3.0	-			-
4 空気質環境		3.0	0.25	-	-			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	-			-
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			-
1 換気量	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	3.0	-			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	3.0	-			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	3.0	-			-
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-			-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.0
1 機能性		2.7	0.40	-	-			2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	3.0	-			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	3.0	-			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	-	-			-
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	-			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	3.0	-			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	0.33	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	0.33	1.0	-			-
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性	防 災 ⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防 災 ⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防 災 ⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防 災 ⑮信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防 災 ⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防 災 ⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防 災 ⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性		3.4	0.30	-	-			3.4
3.1 空間のゆとり		4.2	0.30	-	-			-
1 階高のゆとり		5.0	0.60	3.0	-			-
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-			-
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-			-
3.3 設備の更新性		3.2	0.40	-	-			-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.2

ニテラス株式会社 建築見学福祉厚生棟

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目			<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		6 バックアップスペースの確保			4.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.35	-	-	-	2.2	
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	-	3.0	
3	地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	-	2.5	
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.2	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	3.6	
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	-	5.0	
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3	設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.4	0.50	-	-	-	3.4	
4	効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	2.9	
1	水資源保護				3.4	0.20	-	-	-	3.4	
	1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減				2.9	0.60	-	-	-	2.9	
	2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避				2.7	0.20	-	-	-	2.7	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避				2.6	0.70	-	-	-	-	
	1	消火剤			2.0	0.33	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-	-	-	
	3	冷媒			3.0	0.33	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.1	
1	地球温暖化への配慮				3.5	0.33	-	-	-	3.5	
2	地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
	2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-	-	-	
	1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	
	3	交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	
3	周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	
	1	騒音			3.0	1.00	-	-	-	-	
	2	振動			-	-	-	-	-	-	
	3	悪臭			-	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-	
	1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	-	
	2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-	
	3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-	-	
	2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-	
上記以外の重点項目							-	-	-	-	
<事務用途>							-	-	-	-	
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	3.0	-	-	-	-	-	
<住宅用途>							-	-	-	-	
健康と安心							-	-	-	-	
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
2	適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
3	結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-	-	